

このまちの100年

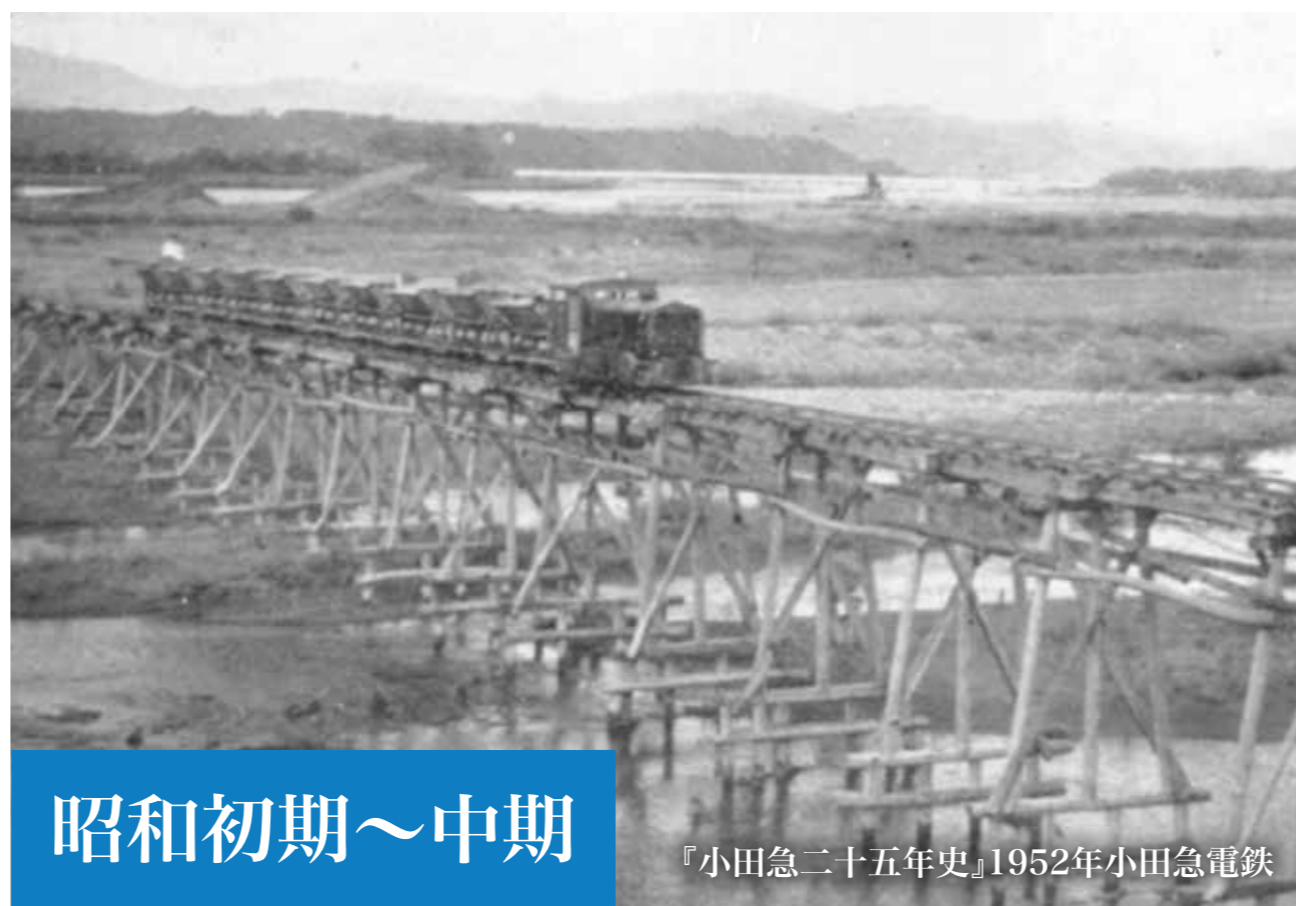
「相模大野」

広大な相模原台地の地形、戦前の軍都としての歴史と区画整理。戦後の基地の街・工業地・住宅地としての発展や陸軍用地跡・返還地の活用など、多くの要因により、他に例を見ない急速な発展を遂げました。



昭和27年頃

昭和13年の通信学校駅開業後、昭和16年に防諜上の理由から改称した相模大野駅。写真は小田原線と江ノ島線の分岐点の様子



昭和初期～中期

相模川の砂利を運んだトロッコ。新磯鉦区（現在の相模原市南区磯部）から小田急座間駅（現在の相武台前駅）までの間に引かれた



昭和40年頃

相模大野団地建設により駅周辺は商業の中心として発展が始まった



昭和40年代前半

買い物客でにぎわった西門周辺。昭和27年に相模日用品小売市場（現在のグリーンバザール西門）が開業した



昭和45年

神奈川県立相模原公園は、座間小銃射撃場跡地を中心に整備された。写真は、開園以前、自衛隊が射撃場として使用していた頃の様子



昭和42年

昭和41年に入居が開始となった相模台団地

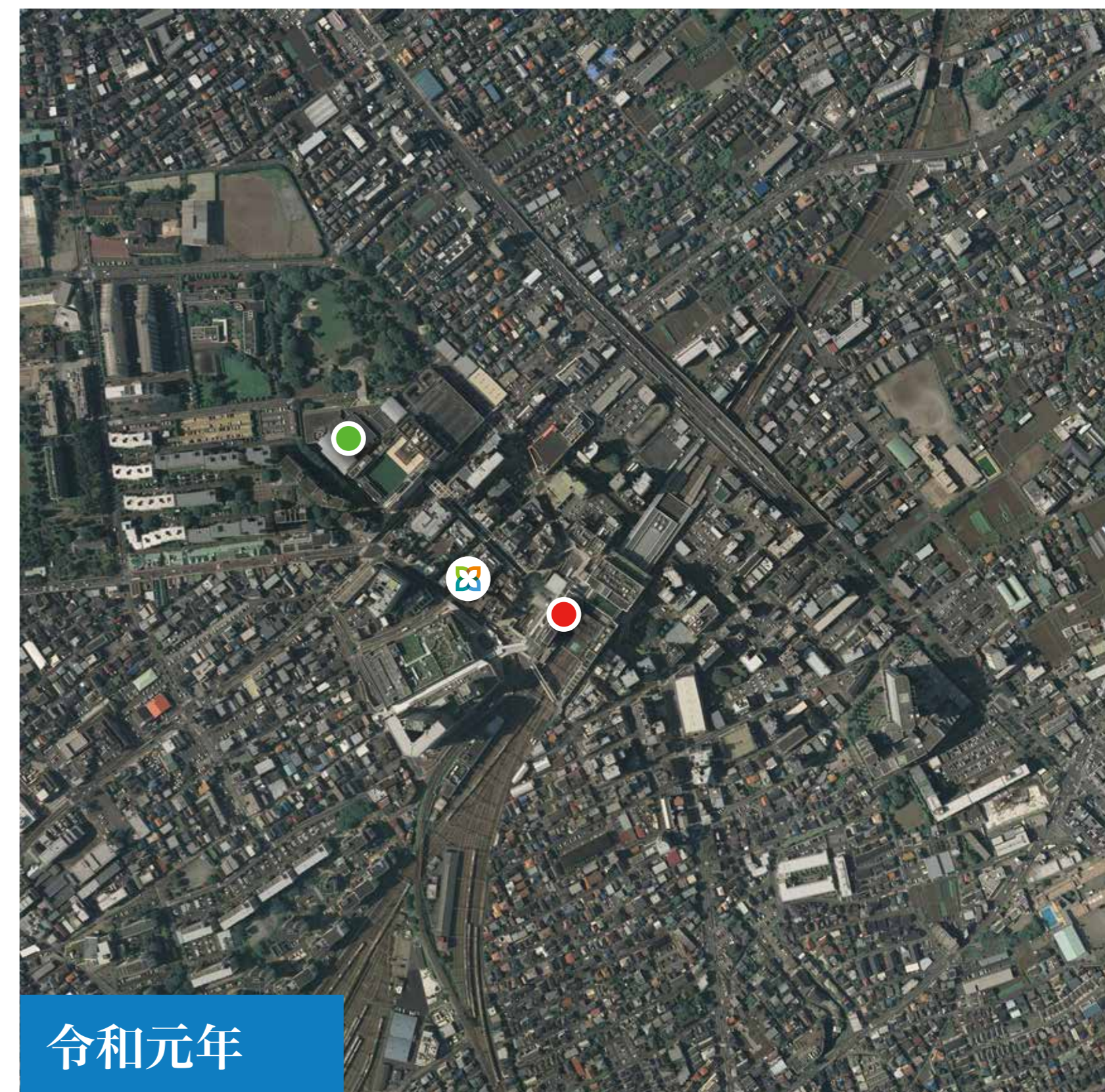
上空からみた相模大野エリア



昭和23年



昭和50年



令和元年

☒ : 現在地
● : 相模女子大学グリーンホール（相模原市立文化会館） ● : 相模大野駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ